

2025_0427「早川駅のツバメ（写真）」日々の理科 3916号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

野生動物…特に鳥類の中で、これほどヒトを恐れず、ヒトの生活の中に入り込んで営巣をする者は、ツバメのほかにはないでしょう。小学生の時府中駅（京王線）の改札口の真上に造られたツバメの巣を、毎日観察するのが楽しみでした。雛が大きくなると、巣から落ちそうになりながらも、親鳥から餌をもらう姿にハラハラしていたものです。駅員さんが、「やさしく見守ってください」という看板を立てたり、巣の下に落下防止の板をしつらえたりして、育雛を応援していたのも覚えています。

先日、東海道線早川駅（小田原駅より一つ熱海寄りの駅）で、ツバメを見かけました。どこの国から飛んできたのでしょうか？まだ巣造りの前らしく、適当な場所を物色しているようでした。しかし、早川駅の古い木造駅舎の天井付近には網が張られています。この網が、ツバメの営巣防止のためなのか、営巣を邪魔する他の野鳥の侵入防止なのかは、わかりませんでした。

（2025年4月下旬／東海道線早川駅）

